

長野市公共施設適正化検討委員会 現地視察日程

令和3年5月18日（火）

時刻	所要時間	場所	担当課
10:00		集合 (市役所第一庁舎市民交流スペース)	公共施設マネジメント推進課 TEL224-7592
10:05		出発(第一庁舎前 市役所広場駐車場)	
↓	25分	(移動)	
10:30		1① 公民館・交流センター(川中島町公民館川中島分館)(30分) 【公民館・交流センターの現状について】 家庭・地域学びの課：説明10分、質疑応答10分、視察10分 【会場】川中島分館会議室又は調理室	家庭・地域学びの課 TEL224-5082
11:00			
↓	25分	(移動)	
11:25		1② 公民館・交流センター(篠ノ井交流センター塩崎分館)(15分) 家庭・地域学びの課：説明5分、質疑応答5分、視察5分 【会場】塩崎分館集会室	家庭・地域学びの課 TEL224-5082
11:40			
↓	35分	(移動)	
12:15		道の駅中条 【昼食 12:15~13:00(45分)】	観光振興課西部産業振興事務所 TEL268-3003 道の駅中条TEL267-2188
13:00			
↓	5分	(移動)	
13:05		2 ジビエ加工センター(30分) 【ジビエ加工センター及び山の恵みジビエ活用プロジェクトについて】 いのしか対策課：説明10分、質疑応答10分、視察10分 【会場】ジビエ加工センター内	いのしか対策課 TEL224-8470
13:35			
↓	5分	(移動)	
13:40		3 中条総合市民センター(45分) 【中条総合市民センター整備について】 地域活動支援課：説明10分、質疑応答15分、視察20分 【会場】中条支所会議室	地域活動支援課 TEL224-7615 家庭・地域学びの課 TEL224-5082
14:25			
↓	40分	(移動)	
15:05		4 松代荘(30分) 【松代荘リニューアルについて】 (観光振興課：説明10分、質疑応答10分、視察10分) 【会場】松代荘大広間	観光振興課 TEL224-5042
15:35			
↓	30分	(移動)	
16:05		市役所 到着(第一庁舎前 市役所広場駐車場)	
同上		(解散)	

※参加予定：委員8名、総務部長、公有財産活用局長、事務局（公マネ課）3名

令和3年度 第1回長野市公共施設適正化検討委員会 現地視察

1 開催日 令和3年5月18日(火) 午前10時～午後4時5分

2 日程 別紙のとおり

3 現地視察の施設について

(1) 公民館・交流センター《担当：教育委員会事務局 家庭・地域学びの課》

【川中島町公民館川中島分館】

目的：公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

概要：鉄骨造2階建 延床面積 348.08 m² (JAとの複合施設の2階部分)

大広間(和室、舞台付)、和室、料理教室

【篠ノ井交流センター塩崎分館】

目的：交流センターは、社会教育を行うとともに市民の生涯学習活動、コミュニティ活動及び地域福祉の増進に資するための諸活動の場等を提供し、市民福祉の推進に寄与することを目的とする。

概要：鉄骨造平屋建 延床面積 483 m²

和室(大)、和室(小)、学習室、集会室(大)、集会室(小)、料理教室

(2) ジビエ加工センター《担当：農林部 いのしか対策課》

目的：農作物に被害を及ぼす有害鳥獣として捕獲されたイノシシとニホンジカは、止め刺し後、地下埋設処理等されていたが、新たな地域資源”ジビエ”として無駄なく有効活用することにより、農業被害及び捕獲従事者の労力軽減につなげ、かつ、中山間地域の活性化を図るため施設を整備した。

概要：鉄骨造平屋建 延床面積 330.47 m²

解体室、熟成室、処理室、冷凍室

(3) 中条総合市民センター《担当：教育委員会事務局 家庭・地域学びの課、博物館、地域・市民生活部 地域活動支援課》

目的：耐震化が必要な中条支所について、集会所(中条会館)、公民館及び民俗資料館の機能を集約し一体的に整備することで、中条地区のまちづくりの拠点として総合的な整備を図る。

概要：支所、交流センターの複合施設

鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 2285.49 m²

【1階】 支所事務室、会議室、交流センター事務室、講堂(ステージ付)、実習室、研修室、図書・展示コーナーなど

【2階】 調理実習室、講義室、和室、図書室、郷土資料室など

(4) 松代荘《担当：商工観光部 観光振興課》

目的：自然とのふれあいを増進させ、健全な保健休養のための場として、市民及び観光客の保養と健康増進に資することを設置目的とし、創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供する。また、利用者が世代を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指している。松代地域の観光拠点として、地域の集客力向上を図っている。

概要：

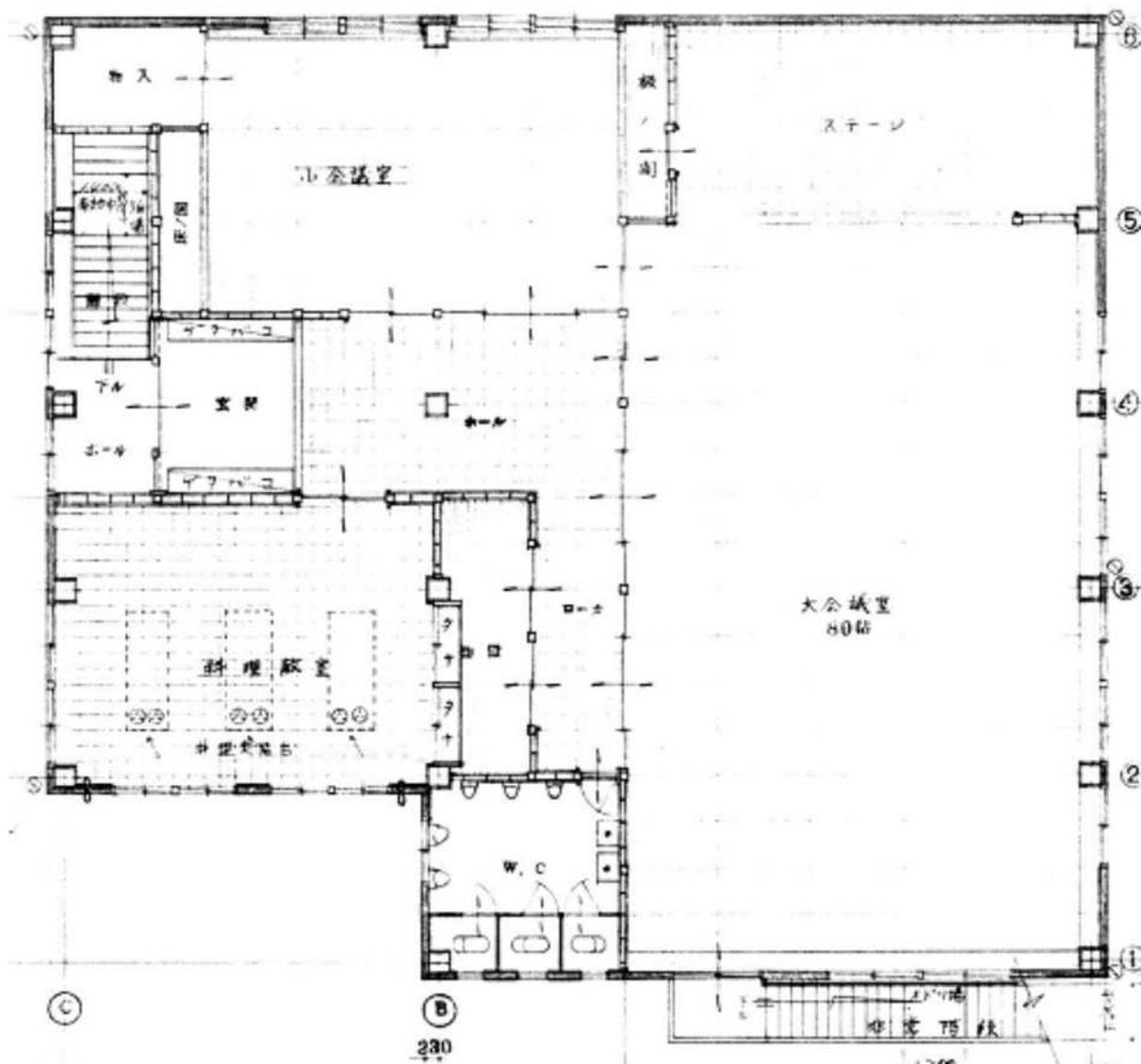
本館	：鉄骨造平屋	平成10年	増築	(床面積 3,476.33 m ²)
宿泊者浴室棟	：鉄骨造平屋	平成19年	増築	(床面積 454.40 m ²)
大広間棟	：鉄骨造平屋	令和2年	増築	(床面積 239.17 m ²)
新館客室棟	：鉄骨造平屋	令和2年	増築	(床面積 453.63 m ²)

施設概要調書

施設名：長野市立川中島町公民館川中島分館

担当課：教育委員会事務局 家庭・地域学びの課

所在地	長野市川中島町上氷鉤1384番地14			
開設	昭和55年11月27日竣工			
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建築構造 鉄骨造、地上2階 (JAとの複合施設の2階部分) ・敷地面積 6,251.00 m²(JA所有) ・延床面積 348.08 m² ・内 容 大広間(和室、舞台付)、和室、料理教室 			
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者
	第一期	非公募	平成29年4月1日～令和2年3月31日	川中島地区住民自治協議会
	第二期	非公募	令和2年4月1日～令和7年3月31日	川中島地区住民自治協議会
施設利用状況	利用区分等	利用実績		
		H29	H30	R1
	利用者数	8,315	6,585	7,908
		R2	2,353	
	※令和2年度はコロナ対策のため4月15日から5月31日まで休館			
設置目的、基本方針	<p>公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p>			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館(集会、サークル等団体の活動) 			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建物と設備が老朽化しているため、頻繁に修繕等が必要である。 ・JAとの複合施設の2階部分が公民館となっている。階段が急で高齢者の昇降に支障がある。 ・新耐震基準に対応していない。 ・個別施設計画では施設を地元へ譲渡、又は廃止を進めることになっている。譲渡先がない場合は、併設している農協と施設の在り方について検討する必要がある。 			
その他				



平面図



分館全景



大広間



和室



料理教室

施設概要調書

施設名：長野市立篠ノ井交流センター塩崎分館

担当課：教育委員会事務局 家庭・地域学びの課

所在地	長野市篠ノ井塩崎3377番地			
開設	平成23年3月			
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建築構造 鉄骨造、平屋 ・敷地面積 1,800.31 m² ・延床面積 483 m² 和室(大)、和室(小)、学習室、集会室(大)、集会室(小)、料理教室			
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者
	第一期	非公募	平成31年4月1日～令和4年3月31日	篠ノ井地区住民自治協議会
施設利用状況	利用区分等	利用実績		
		H29	H30	R1
	施設利用者数	8,029	8,709	7,114
		R2	3,828	
	※令和2年度はコロナ対策のため4月15日から5月31日まで休館			
設置目的、基本方針	交流センター：社会教育を行うとともに市民の生涯学習活動、コミュニティ活動及び地域福祉の増進に資するための諸活動の場等を提供し、市民福祉の推進に寄与することを目的とする。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・講座 ・貸館(集会、サークル等団体の活動) 			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・主に篠ノ井塩崎地区住民が利用しており、利用者が限定されている。 ・個別施設計画では施設を地元へ譲渡、又は廃止を進めることになっている。 			
その他				



和室



学習室



集会室

施設概要調書

施設名：長野市ジビエ加工センター

担当課：農林部のしか対策課

所在地	長野市中条住良木1558番地2				
開設	平成31年4月（本格的稼働開始：令和元年7月から）				
施設概要	<p>■構造：鉄骨造平屋建 延床面積 330.47㎡ <主な施設設備> 解体室、熟成室、処理室、冷凍室 （スライサー、ミンチ製造機、真空パック処理機、金属探知機、放射能測定器、商品管理システム等 完備）</p> <p>■開所日：月曜日以外の平日、土日、祝日 （夏季（8/10～17）、年末年始等は休所日）</p> <p>■開所時間：午前8時～午後4時45分</p> <p>■職員体制：正規職員2名、加工処理職員（会計年度職員）3名 計5名</p>				
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者	
施設利用状況	利用区分等	利用実績			
		H29	H30	R1	R2
	ジビエ活用個体受入数	—	—	1,043頭	573頭
	内、ジビエ加工処理頭数	—	—	495頭	407頭
設置目的、基本方針	<p>農作物に被害を及ぼす有害鳥獣として捕獲されたイノシシとニホンジカは、止め刺し後、地下埋設処理等されていたが、新たな地域資源”ジビエ”として無駄なく有効活用することにより、農業被害及び捕獲従事者の労力軽減につなげ、かつ、中山間地域の活性化を図るため施設を整備した。</p>				
主な実施事業	<p>有害鳥獣として捕獲されたイノシシとニホンジカのジビエ加工処理業務及び加工処理したジビエ（精肉等）の販売 （取扱ジビエ：食肉用及びペットフード用）</p>				
現状と課題	<p><現 状> 令和元年度の施設稼働1年目は、安定した量を定期的購入いただける事業者が少なくジビエ販路先の開拓が大きな課題になっていたが、昨年度の実業家訪問や事業者によるジビエ商品開発等により、ジビエ販路先が確保され、市内へのジビエ流通が始まった。今後、学校給食に本格的にジビエを提供を開始する等、食育に関する取組も図りながら、更なる販路確保につなげていきたい。</p> <p><課 題> 市内で、CSF（豚熱）に感染したイノシシが確認されたことから、CSF感染拡大防止等のため令和2年2月22日から、ジビエ加工センターへのイノシシ受入を休止していることから、現在、ニホンジカの受入のみの対応であることから、ジビエ供給量が課題である。</p>				
その他					

ほぼ有害鳥獣として捕獲されたイノシシとニホンジカを、これまでは、地下に埋設処理等しな長野市の地域資源”ジビエ”として無駄なく有効活用することにより、農業被害及び捕獲なげ、かつ、中山間地域の活性化を図るため、平成31年2月に長野市中条地区にジビエ加工同年4月から運営を開始しました。

- 歩み)
- 長野市ジビエ振興計画策定
 - 水産省がジビエ利用モデル地区に選定
 - ジビエ加工センター工事着手（平成29年2月建設地（長野市中条地区）に決定）
 - ジビエ加工センター竣工（平成31年3月28日竣工式）
 - ジビエ加工センター稼働（6月まで試験稼働、7月から本格稼働）
 - 「国産ジビエ認証」及び「信州産シカ肉処理施設認証」を取得
 - 主に事業者向けに本格販売を開始（ペットフード用は令和元年7月から）



長野市ジビエ加工センター

- 施設運営体制
 - 長野市直営（現在、職員5名体制）
- 施設運営日時
 - 平日（月曜日は休所日）・土日・祝日
 - ※夏季（8月10日～17日）、年末年始（12月29日～1月3日）は休館
 - ・午前8時から午後5時まで（捕獲個体受入は、午後2時30分まで）
- 構造：鉄骨造平屋建（約330㎡）
- 総事業費：約3億5,400万円
 - （内、国交付金：1億2千万円）
- 主な施設設備：解体室、熟成室、処理室、冷凍室
 - （スライサー、ミンチ、真空パック、金属探知機、放射能濃度測定システム、電解水生成装置、商品管理システム完備）
- 施設の特長
 - 衛生管理の充実（国産ジビエ認証及び信州産シカ肉処理施設認証取得）
 - 商品管理システムによりトレーサビリティの確保



国産ジビエ認証のポイント！

認証施設から出荷されたジビエ肉を使っていれば、飲食店舗や加工業者なども国産ジビエ認証マークを使用することができ、「国産ジビエ認証制度」は下記のポイントがあり、認証マークがお肉の安全性を保証します。

Point 01

安全

衛生管理ガイドライン

厚生労働省の「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針（ガイドライン）」を遵守して適切に処理を行っていることが確認されています。

Point 02

安心

トレーサビリティ

捕獲から出荷されるまでの工程や衛生管理方法など、製品の履歴が確認できることにより、消費者に安心を届けます。

Point 03

扱い

明確なラベリング

これまでなかったようなラベリングによって、消費者が安心して食べられるように、部位を選べるようにしています。

※日本ジビエ協会

食肉用ジビエの販売価格 ※イノシシは販売休止中

部 位	イノシシ肉
ロース	4,500円/kg
モモ	4,000円/kg
バラ	3,500円/kg
スネ・カタ・ネック	2,000円/kg
ミンチ	2,500円/kg
端材	1,500円/kg
スライス	1 注文500円加算

※ペットフード用の残渣（食肉加工用以外のもの）も販売しています。 ※大量注文は別途お問い合わせください。
 ※販売方法：FAX 等で商品を受け付け、クール宅急便等（商品代引き）で配達します。



施設概要調書

施設名： 中条総合市民センター
(支所、交流センター、博物館)

担当課：

地域・市民生活部 地域活動支援課
教育委員会 家庭・地域学びの課
教育委員会 博物館

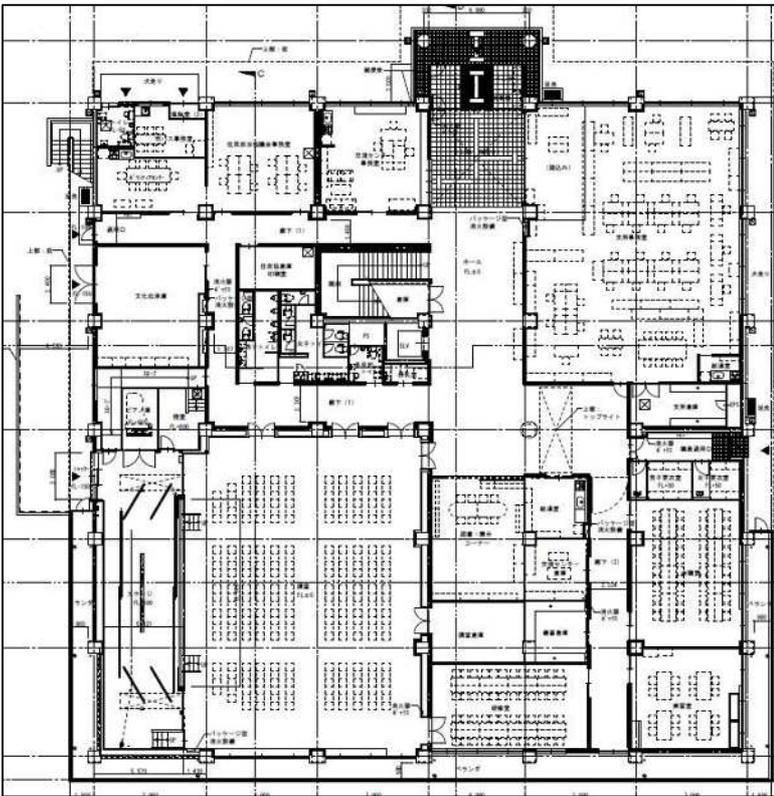
所在地	長野市中条2383番地1				
開設	令和3年4月				
施設概要	<p style="text-align: center;">【1階】 支所事務室、会議室、交流センター事務室、講堂(ステージ付)、実習室、 研修室、図書・展示コーナーなど</p> <p style="text-align: center;">【2階】 調理実習室、講義室、和室、図書室、郷土資料室など</p>				
指定管理者制度導入経過	公募・非公募	指定期間		指定管理者	
	該当なし				
施設利用状況	利用区分等	利用実績			
		H29	H30	R1	R2
	支所(交付件数)	1,701	1,666	1,560	1,440
	公民館(利用者数)	7,029	6,246	解体	解体
	資料館	284	114	解体	解体
	会館	2,684	2,767	4,163	2,545
設置目的、基本方針	<p>支所は、住民サービスの維持向上や都市内分権の推進・コミュニティの維持、また災害対応拠点として設置する。</p> <p>また、交流センターは地域づくりに関する活動、社会福祉に関する活動などの場を提供するとともに、住民の交流及び主体的な活動を促進し、地域の活性化及び住民の福祉の増進に資するため設置する。</p>				
主な実施事業	<p>【支所】 住民票発行等窓口業務、住民自治協議会との連携</p> <p>【交流センター】 講堂等の貸館、講座の開催(料理教室等)など</p>				
現状と課題					
その他					

■写真

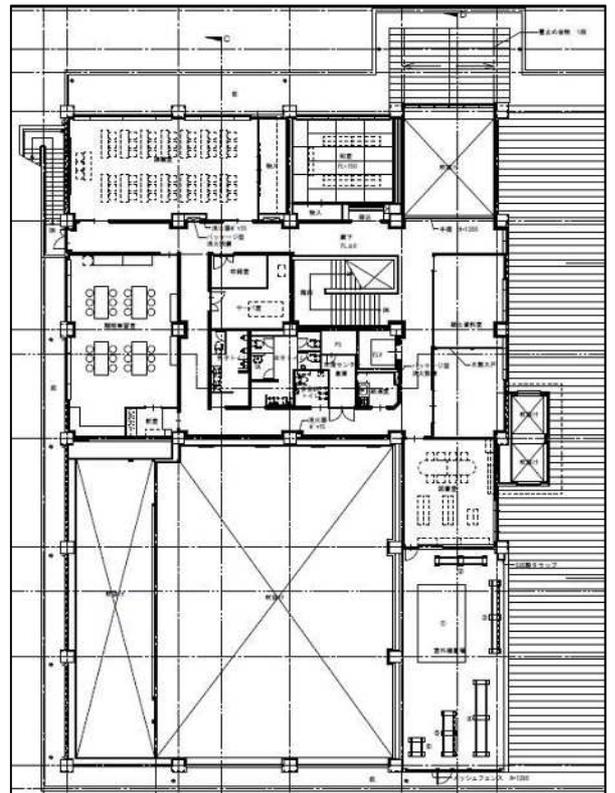


■平面図

【1階】



【2階】



【概要】

敷地面積 4980.12㎡
 総床面積 2285.49㎡
 (1階1716.39㎡ 2階569.10㎡)
 駐車台数 70台
 太陽光発電 10kw

中条総合市民センター整備に関する施設配置図



■関係施設一覧

番号	施設名称	構造	建築年等 (R1現在)	敷地面積	既存 床面積(A)	計画 床面積(B)	差引(B)-(A)	備考
①	中条支所	RC3	1972年(S47) 47年	3,372.23m ²	1,437m ²	700.00m ²	▲737.00m ² (▲51.28%)	
②	中条会館	W2	1970年(S45) 49年	905.16m ²	555m ²	82.98m ²	▲472.02m ² (▲85.04%)	交流センターに含む
③	中条公民館	SRC2	1979年(S54) 40年	3,135.08m ²	1,805m ²	1,423.42m ²	▲381.58m ² (▲21.14%)	交流センター
④	中条歴史民俗 資料館	SC2	1980年(S55) 39年	959.43m ²	416m ²	79.09m ²	▲336.91m ² (▲80.98%)	
計				8,371.9m ²	4,213m ²	2,285.49m ²	▲1927.51m ² (▲45.75%)	

施設概要調書

施設名：国民宿舎 松代荘

担当課：商工観光部観光振興課

所在地	長野市松代町東条3541番地				
開設	昭和39年8月12日				
施設概要	<p>【延べ面積】 4751.83㎡ 【建築面積】 5,097.66㎡</p> <p>【構造】 本館：鉄骨造平屋（床面積3,476.33㎡） 宿泊者浴室棟：鉄骨造平屋（床面積 454.40㎡） 大広間棟：鉄骨造平屋（床面積 239.17㎡） 新館客室棟：鉄骨造平屋（床面積 453.63㎡） その他：四阿など（床面積 51.7㎡）</p> <p>【建築年】 旧館：昭和39年 新築（取壊し） 本館：平成10年 増築 宿泊者浴室棟：平成19年 増築（中宴会場含む） 新館客室及び大広間棟：令和2年 増築（その他含む）</p> <p>【客室定員】 152名 客室全44部屋</p> <p>【温泉泉質】 含鉄(Ⅱ)－ナトリウム・カルシウム－塩化物温泉</p> <p>【温泉湯量】 毎分630.1リットル（自噴）平成29年度平均値</p>				
指定管理者制度導入経過		公募・非公募	指定期間	指定管理者	
		非公募	平成30年4月～令和5年3月	一般社団法人 長野市開発公社	
施設利用状況	利用区分等	利用実績			
		H29	H30	R1	R2
	宿泊利用者数	21,677	21,904	15,522	11,806
	入浴利用者数	147,204	147,565	143,651	92,011
	休憩利用者数	9,674	9,356	5,569	2,488
営業収入	401,750,084	401,829,413	300,718,392	226,902,022	
設置目的、基本方針	<p>自然とのふれあいを増進させ、健全な保健休養のための場として、市民及び観光客の保養と健康増進に資することを設置目的とし、創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供する。また、利用者が世代を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指している。松代地域の観光拠点として、地域の集客力向上を図っている。</p>				
主な実施事業	<p>宿泊：客室全44室（152名収容） 外来入浴：午前10時～午後10時 日帰り宴会：午前10時～午後3時</p>				
現状と課題	<p>令和3年2月のグランドオープン当初は、日帰り入浴、宿泊ともに利用者が多く、宿泊は平日、休日とも満室の状態となっていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、キャンセルが相次ぎ、利用者が減少している。日々の変化を営業対応により、宿泊者数、日帰り入浴の収益増を目指す。</p>				

国民宿舎 松代荘 玄関前写真



家族風呂付特別室 6名定員 1部屋



和洋室(2ベッド) 4名定員 4部屋



松代荘 平面



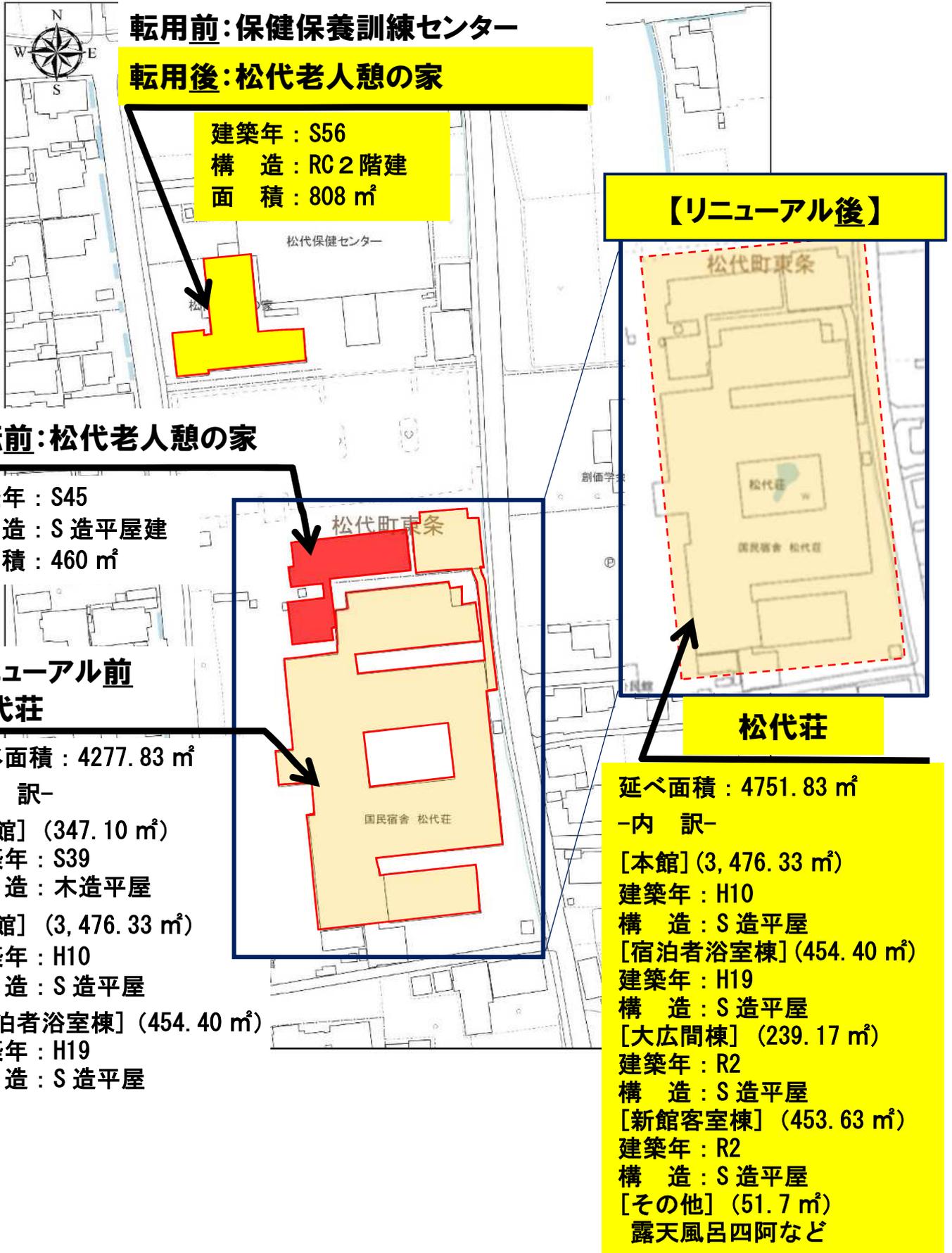
露天風呂



日帰り入浴室



松代荘リニューアルに関する施設配置図



特記事項等

施設名 (事業名)	長野市国民宿舎松代荘 長野市国民宿舎松代荘改修事業		
担当課	観光振興課		
事業年度 (事業期間)	平成30年度～令和2年度		
総事業費 (うち建設費)	795,870千円 (737,550千円)		
財源 内訳		総事業費	令和2年度 当初予算
	一般財源		
	国庫負担金	155,889千円	
	県負担金		
	市債	155,800千円	
	その他特定財源	484,181千円	462,492千円
	合計	795,870千円	462,492千円
敷地面積	12,565.57㎡		
建築面積	5,097.66㎡		
延床面積	4,751.83㎡		
規模・構造	鉄骨造平屋建て		
施設及び事業の目的	自然とのふれあいを増進させ、健全な保健休養のための場として、市民及び観光客の保養と健康増進に資することを設置目的とし、創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者が世代を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指している。また、松代地域の観光拠点として、地域の集客力向上を図っている。		
施設概要	<p>【延べ面積】 4,751.83㎡ 【建築面積】 5,097.66㎡ 【構造】 本館 :鉄骨造平屋 (床面積3,476.33㎡) 宿泊者浴室棟:鉄骨造平屋 (床面積 454.40㎡) 大広間棟 :鉄骨造平屋(床面積 239.17㎡) 新館客室棟 :鉄骨造平屋(床面積 453.63㎡) その他 :四阿など(床面積 51.7㎡) 【建築年】 旧館 :昭和39年 新築(取壊し) 本館 :平成10年 増築 宿泊者浴室棟:平成19年 増築 (中宴会場含む) 新館客室及び大広間棟:令和2年 増築</p> <p>【客室数】 本館 和室(10畳):13部屋 (12.5畳):1部屋 モダン和室(2ベッド):10部屋 洋室(ツイン):6部屋 (シングル):4部屋 特別室(風呂付):1部屋 新館 特別室(風呂付):1部屋 和洋室(2ベッド):4部屋 洋室(ツイン):4部屋</p> <p>【客室定員】 152名 【温泉泉質】 含鉄(Ⅱ)-ナトリウム・カルシウム-塩化物温泉(参考資料5)</p>		
施設の特徴	松代は、真田十萬石の城下町として「長野の小京都」とも言われている歴史の町であり、「松代荘」はこの地域の一角に位置する松代温泉にある。建物の外観は、歴史の町にふさわしい武家屋敷風。また、武田信玄の隠し湯にちなんで、「風林火山」をイメージした広々としたロビーと四季の趣をかもし出す日本庭園が特徴。さらに松代荘の温泉は、源泉かけ流しの天然温泉で湯量の豊富さとともに、含有成分・種類も豊富で、美肌や切り傷ややけどなどの外傷に効果があるといわれている。		
開設年月日	昭和39年8月12日(リニューアル後のグランドオープン＝令和3年2月3日)		